

**令和7年度 第2回幸田町総合計画審議会  
議事録**

**日 時：** 令和7年8月5日（火）14時00分～16時00分

**場 所：** 幸田町役場4階 第3第4委員会室

**参加者：** 委員名簿（別紙）

**配布資料：**

- ① 令和7年度第2回幸田町総合計画審議会 次第
- ② 令和7年度第2回幸田町総合計画審議会委員名簿
- ③ 令和7年度第2回幸田町総合計画審議会席次表
- ④ 土地利用構想（案）
- ⑤ 第7次幸田町総合計画 施策体系図（案）及び取組分野別計画（案）
- ⑥ まちづくりの重点方針
- ⑦ 参考資料

## 1 挨拶

【廣井委員長】

- 本日は町の将来像を描く土地利用構想案と基本計画における重点方針、そして、前回ご意見をいただいた取組分野別計画について、現状と課題に加えて、取組内容や目標指標が追加された資料についてご意見をいただきたいと思ひます。

## 2 議事

（1）第7次幸田町総合計画における土地利用構想（案）について

【事務局説明】

- 配布資料④に基づき、事務局である幸田町企画政策課の内田主査から土地利用構想（案）について説明を行った。
- 配布資料⑦に基づき、土地利用構想および基本計画について意見交換を行った団体および主な意見について紹介した。

【委員からの意見】

○民生委員児童委員協議会副会長 伊藤委員

- p.3「⑤自然環境」において、竹林についても記載してほしいと思ひます。竹林が荒れており、整備が必要だと思ひます。

→ 事務局（柴田課長）

- 竹林の問題は自然環境に関する問題の中でも重要なものであると認識していますので、

記載を加える方向で担当部署と検討します。

○幸田土地改良区理事長 都築委員

- 土地利用構想図はいずれも簡略化されすぎていて、どこのことなのかが分かり難いです。実際の地形図に近い図にしてほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 総合計画はあくまで方向性を示すものであり、総合計画には細かいことは記載しません。その中で構想図はあくまでイメージを伝えるものです。これを踏まえて、配布資料⑦にあるような都市計画マスタープランの土地利用計画図に詳細を記載していきます。土地利用構想図にどこまで詳細を記載するか検討します。

→ 廣井委員長

- 確かに土地利用構想はあくまでイメージではあります。ただし、総合計画をいろんな人に見ていただくためには、より分かり易くする必要があり、土地利用構想図についても分かり易くする必要が有るとのご意見と理解しました。次回までに、どういう人にどのように説明するかを意識して、構想図を整理してみてください。

○日本福祉大学教授 児玉委員

- 総合計画は 10 年後の 2035 年の町の姿を見据えて作成していくものであり、その点で重点方針にもある「超高齢社会に備える」ことが重要であり、土地利用構想図にも「超高齢社会に備える」視点からの作成が必要です。現時点での土地利用構想図案をみると、拠点やゾーンの設定などが従来の発想にとどまっていると思われます。
- 例えば、医療福祉ゾーンは北部地区に 1 カ所設定されているだけですが、もっと身近なところ、例えば都市拠点である駅周辺等も検討してほしいと思います。
- 基本目標 6「みんなで支えるまち」も目指す方向性の一つだと思います。土地利用構想の中でにぎわい交流ゾーンがそうした機能を担う場所となるのかと思いましたが、記載では地域の人が集まることしか書かれていないので、支え合う場としてもにぎわい交流ゾーンを位置づけてほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 北部地区に示した福祉・医療ゾーンは既に具体的な計画があり、ここへの公共交通等によるアクセス向上などによって町全体をカバーすることを検討しています。
- にぎわい交流ゾーンにおいて多世代の交流を図るということは記載していますが、ご意見を参考に「地域共生社会」に向けて土地利用構想を検討します。

→ 廣井委員長

- 都築委員や児玉委員会いただいたご指摘のポイントは2つ。
- 土地利用構想と基本目標・基本計画がつながっていないのではないか。土地利用構想の中には目標が盛り込まれておらず、主な施策として取り組みが記載されているだけになっている。総合計画の中で基本目標や重点方針と土地利用構想の基本方針などをつなげる必要がある。
- 2つ目に単純にイメージが分かり難いということで、具体的に何をしようとしているのかなどイラスト等を使ってみてはどうか。次回までに伝えようとしていることを分かり易く整理してください。

○区長会会長 尾崎委員

- 今までの計画と、これからの10年間の計画で何をしようとしているのか、今までと何が変わっていくのかが分かるようにしてほしいと思います。10年といっても限られて年数の中でできることは限られている。
- 今までの10年と何が変わっているのか、現時点ではあまり変わってないようにも読める。変わらない中で、特に重点を置いて変えたいところがあればそこをメリハリつけて示してほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 土地利用構想は方向性を示すものであり、構想したことが全て実現できるわけではありません。あくまで方向性を示し、現時点での構想としてまとめています。
- 計画期間である10年間で何をしていくのかをより分かりやすく、どのように示すか検討します。

○こうした環境ネットワーク代表 重松委員

- 福祉・医療ゾーンが北部の1カ所だけでは行きたくてもいけない場合も出てくるのが懸念される。
- 具体的にどのように計画が進んでいるのか教えてほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 既に特定の場所で計画が進んでいるため、公共交通の整備をすすめ、アクセス性を確保するようにします。
- 北部地区にある特別養護老人ホームつつじが丘の東側で土地を町が購入し、そこに施設を運営する事業者を誘致しています。

○幸田荻谷土地区画整理事業準備委員会副代表 稲吉委員

- あまりパツとしなくてぼやけた感じがする。なにか行動が伴っていないような印象を受けます。

→ 事務局（柴田課長）

- 構想ですので、現時点で動いているものと動いていないものが混在し、全体的に具体性が欠けているのかもしれませんが。
- 10年間で何に取り組むのかについて分かり難いというのは尾崎委員と同じご意見だと受け止めました。具体的に何を進めますということをどのような表記ができるのか、財政的な措置もあるので現時点では不明ですが、メリハリをつけた記載とできるよう検討します。

○教育委員会教育長職務代行 中西委員

- 「健康のまち」として幸田町は町の東側ではウォーキングロードを整備しているので、西側でも整備して欲しい。
- 町民だけでなく、町外の名古屋等からも健康のために来ていただけるようにしてほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- ウォーキングの重要性ということは健康に関する担当部署でも認識をしており、健康課のほか、文化スポーツ課など複数の課で散策路の整備などを行っています。
- 深溝断層から深溝小学校の西までの間で散策路を整備したりもしており、現在整備している三ヶ根駅前広場に散策路の看板や健康遊具を設置する予定です。総合計画には健康やウォーキングなどを盛り込んでいきます。

→ 廣井委員長

- p.6「深溝運動場周辺におけるスポーツ施設の充実」という表現では、建物の整備がイメージされやすいので、健康まちづくりの促進やウォーキングも含めた表現にしてはどうか。
- p.4の右上「子育て支援施設の整備」という項目があるが、相見駅周辺の子育て支援施設の整備は「多世代交流施設」だけしか記載されていない。「子育て支援センター」のような施設の整備は計画されていないのでしょうか。

→ 事務局（柴田課長）

- 「多世代交流施設」と表記していますが、児童館の機能も持つ施設として整備する計画で、子育て支援の機能も想定した施設です。

○幸田荻谷土地区画整理事業準備委員会副代表 稲吉委員

- p.3「⑤自然環境」に森林についての記述はあるが、山林は整備されないままです。多くの林道は木で覆われていて通れなくなってきました。高齢化も進んで、所有者自身が山へ入れなくなっていて整備できなくなっている。せっかく山や森林があるのに、その整備が高齢化できなくなっており、これで緑豊かな町と言えるのだろうか。

→ 事務局（柴田課長）

- 山の整備が進んでいないとのご指摘はごもっともであり、財政的な制約もあり、危険な箇所はもちろん優先して整備し、さらに里山として整備する場所など優先順位をつけて進めています。

○区長会会長 尾崎委員

- 幸田町の山は荒れていて歩き難いが、西尾市の山は道の手入れが進んでおり、山歩きをする人が市内外からきている。西尾市では行政だけでなく、ボランティアで整備に取り組んでいる人たちもいる。
- 幸田町でもそれを参考に、町や山の所有者が山道の手入れなどをボランティアで進められるような取り組みをしてほしいと思います。そうすれば町内外から山歩きを楽しむ人が増えるのではないかと。

→ 廣井委員長

- 基本計画には「山地管理」が記載されているので、土地利用構想にもそれを記載してほしい。
- 土地利用構想と基本目標・基本計画がまだ十分に対応していないので、対応するようにしてほしいと思います。

(2) 第7次総合計画総合計画におけるまちづくりの重点方針および基本計画（案）について

【事務局説明】

- 配布資料⑤および⑥に基づき、事務局である幸田町企画政策課の内田主査からまちづくりの重点方針および基本計画（案）について説明を行った。

【委員からの意見】

○日本福祉大学教授 児玉委員

- 住宅整備と高齢者福祉・障がい者福祉に関連することで、住宅セーフティネット法が定められ、住まいの確保が難しい「住宅確保要配慮者」が安心して入居できる賃貸住宅の整備が求められています。各市町でも高齢者や障がい者が安心して住むことができるよう、見守りや支援などの居住サポートがついた住宅の整備が必要です。これについて

て、住宅整備および高齢者・障がい者福祉の両方に記載を追加してほしいと思います。

- 防災においても、災害時の避難行動要支援者への対応が課題となっているので、それについても加えてほしいと思います

→ 事務局（柴田課長）

- いただいた意見については一旦持ち帰り、各課に伝え、適切な対応を検討したいと思います。

○幸田荻谷土地区画整理事業準備委員会副代表 稲吉委員

- 幸田荻谷土地区画整理事業として今年の秋に組合を立ち上げるための準備委員会を開いていますが、その議論の中で幸田町は名古屋のベッドタウン的な存在であり、西隣の蒲州市まで行くと豊橋市や浜松市の通勤圏になるという話を聞いています。
- 人口目標 4 万 3 千人とされていますが、以前には将来目標を 5 万人ともしていたところで、なぜなのかを以前の審議会でお尋ねしたところ、人口減少社会の到来で人口を増やすことは難しいとお聞きしました。
- ただ、名古屋の通勤圏で緑の豊かな町であり、まだ土地の価格も比較的安く、商業地以外の土地でも市街化を進めていけば、これからも移住して来る人を増やせる可能性はあると思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 人口推計では減少していくとされる中で、できるだけ現状を維持し、できればさらに増やして 1000 人増を目指すとしていますが、それも高望みではないかという意見もあります。
- 幸田町としては荻谷土地区画整理事業には大変期待しています。

○区長会会長 尾崎委員

- 区長会としては特に意見はありません。
- 質問ですが、目標値の設定についてどうやってきめられていますか。
- 例えば、取組分野 1-1-1「防災体制の強化」の目標値である「非常持ち出し袋を要している住民の割合」が 10 年間で 10%しか上がっていません。
- 全般的に目標値の設定が現実的すぎるのではないかと思います。目標値はできるだけ高めに設定することで、その高い目標を目指してレベルアップもしていくことになり、取組も変わっていくのではないかと思います。
- 幸田町の面積の 3 割を占める山は、町の魅力の一つであると思います。山を活用するような取り組みを加えてほしいと思います。

→ 廣井委員長

- 目標値について、どういう考え方で設定したか、次回の審議会で示してほしいと思います。

○こうた女性の会会長 山本委員

- 「住民の役割」という言葉に圧迫感を感じました。それに代わる候補案はありませんが、修正してほしいと思います。
- 公共交通の整備について、駅前のロータリーをより使いやすくしてほしいと思います。若い人がもっと移住してくてくれるようにすれば、それによって駅の利用者も増え、駅舎の改築などもできるのではないかと思います。

○こうた環境ネットワーク代表 重松委員

- 環境問題に地域で取り組んでいます。現在、全世界的な環境問題として温室効果ガスがあり、そのことは基本計画に盛り込まれていますが、もう一つ、マイクロプラスチックの問題があるのですが、それについては盛り込まれていないので追加して記載してほしいと思います。
- 例えば、洗濯ばさみなどは劣化しやすく、環境に広がりやすく、そこから人体に入ります。プラスチックの利用を減らす必要があるので、そういったことを基本計画に追加してほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 総合計画では大きな課題を取り上げ、個別の課題については個別計画にゆだねることでしています。マイクロプラスチックの問題については、担当部署と対応について検討します。

○幸田町ボランティア連絡協議会会長 山本委員

- 幸田駅の駐車場を確保して欲しい。
- 荻地区で圃場整備が進められています。代替地なしで実施されるとも聞いていますが、代替地などは用意されないのかをおしえてください。

→ 事務局（柴田課長）

- 圃場整備事業をどのような方法で実施されるのかについては企画政策課では承知していませんので、担当部署に伝えて対応いたします。

○深溝学区まちづくり研究会会長 稲吉委員

- 第6次の計画がどこまでできて、できなかったことについてはなぜできなかったのか

や、第6次から継続していることや、第7次ではどのような新たな環境変化があつて、どのように計画を変えていったのかなどについてのポイントが伝わってこない。第6次からの継続することと、第7次で新たに取り組むこと、さらに計画期間は10年ですが、20、30年先までの見通しを踏まえてこの10年で取り組むことなどをメリハリつけた資料にしてほしいと思います。

- 各取組ごとに所管している担当部署があるはずなので、それを記載した方がそれぞれの部署が責任をもって進めていくこととなり、良いと思います。
- p.2「南海トラフ地震への備え」についてですが、避難所の最低限の設備を整えることが必要で、デジタル化が進んでいたり、空調が必要であつたりなどから電源の確保が欠かせないのではないのでしょうか。発電機や太陽光発電設備などインフラ面での備えも盛り込んでほしいと思います。

→ **事務局（柴田課長）**

- 空調設備の整備とともに発電機等の電源確保も進めていますので、そういったことも分かるように記載することを検討します。
- 第6次計画から第7次計画で、できなかったことや新しいことについては、社会情勢の変化や第6次計画の進捗などをこれまでの審議会でお伝えしてきましたので、今回の審議会ではそれを踏まえて土地利用構想と基本計画をご確認いただいています。今後、総合計画を冊子としてまとめていく際には、ご指摘のことも踏まえていきたいと思っています。

→ **廣井委員長**

- 第6次から第7次への流れについてはこれまでも審議会でお示ししてきましたが、ご指摘は基本計画の中に反映させてはどうかということだと思います。

→ **事務局（柴田課長）**

- 基本計画の中での記載については検討させていただきます。

○**幸田町消防団長 磯部委員**

- 「1-1-3 消防・救急体制の充実」について、触れてあるとおり消防団の人員の確保が課題であり、町内の小中学生を対象に体験教室を開くなど消防団についての広報活動をしており、今後も町内各区との協力が必要です。「住民の役割」の中に消防団活動への理解と協力が記載されていますが、さらに地域とのつながりや連携を深めるという記載を加えてほしいと思います。
- 「1-1-5 防犯対策の強化」になると思いますが、年末に「防犯夜警」という町内の各詰め所を回る活動を行っていますので、そのことについても記載してください。

#### ○幸田土地改良区理事長 都築委員

- 「3-1-1 農業振興」の箇所には、道の駅のことしか記載されていません。現状と課題でも、道の駅の何が課題なのか、農業の何が課題なのかが記載されていません。
- 「憩いの農園」についての記載もない。地域の人たちが農産物を持ち込む直売スペースがあり、そのことも記載されていない。
- 農業の課題は後継者がいないこと、高齢化によって耕作ができなくなっていること、また耕作できなくなった土地をどうしていくかだと思います。町内の畑地は条件も悪く、10年もすると荒地ばかりになる懸念があります。
- 目標指標として、「新規就農者」を増やし、「遊休農地」を減らすとされているが不可能ではないかと思います。

#### → 事務局（柴田課長）

- 「農業振興」の項目についてはご指摘のとおりであり、調整不足もあって不十分な記述となっています。後継者不足、耕作放棄地、流通・販路拡大といったことは記載していくべきと認識し、調整をしているところですが、ご指摘いただいたことを伝えて産業振興課と対応を検討していきたいと思います。
- 「憩いの農園」については記載の仕方について、販路拡大、流通ということで記載するか検討します。
- 目標指標についても、担当部署とさらに検討します。

#### ○民生委員児童委員協議会副会長 伊藤委員

- p. 39「効率的で健全な行財政」において、現在、厳しい財政状況にあり、今後も改善は見込めない中で、既存事業の評価や見直しを積極的に行っていないといけな状況であり、総合計画の中でもそのことについて記載してほしいと思います。

#### → 事務局（柴田課長）

- 財政当局としっかり検討し、どのように記載するのか決めていきたいと思います。

#### → 廣井委員長

- 他市町では3~4つのシナリオを定めて、それに基づいて財政シミュレーションを行っている市町もあるので、そういう取組も参考に根拠のある計画としてほしいと思います。

#### → 事務局（柴田課長）

- 実行計画の策定によって3年間の中で財政的なことも確認することとなっていますが、実際にはうまく機能していませんので、今後どのように進めるか検討します。

○商工会青年部部長 西尾委員

- 「観光振興」についてですが、今年は彦佐まつりが実施されなかったこともあり、多くの人から残念という声を聞いています。「観光振興」の中でロケツーリズムが記載されていますが、まつりの継続についても記載してほしいと思います。
- 自分自身も消防団に参加していました。「消防・救急体制の充実」に関して、消防団についての認知度について住民意識調査では 93.8%あるとの記載もあったが、そこまで認知されていないのではないかというのが実感なので、もっと認知度を上げほしいと思います。
- 駅前の火事もありましたが、消防団は重要な役割を担っていると思いますし、入ってみないとどのような活動をしているのかは分からないところもありますが、もっと認知度を上げてほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- まつりについては、視点が少し違いますが「5-1-2 健やかな青少年の育成」の中に記載はあるが、他の箇所での記載についても検討します。
- 総合計画の中でも細かいところまでは記載が難しいかと思いますが、消防団の認知度を上げることについては所管する担当部署では課題として認識しており、取組も進めています。

○保健推進委員協議会会長 安藤委員

- 「こんにちは赤ちゃん訪問」を行っており、若いお母さんたちにお会いすることが多いのですが、お母さんたちはファミリーサポート事業ほか様々な子育て支援事業についてよく知っていらっしゃると思います。
- 防災ボランティアも行っているのですが、ボランティアの高齢化が進んでいます。保育園や学校では防災教育が実施されており、子どもたちの防災意識は高く、行動にもつながっています。新たな担い手としては中学生をもっと巻き込んで、防災リーダーにも中学生を加えていってはどうかと思っています。

→ 事務局（柴田課長）

- 若い人たちが防災はじめ地域の活動に参加していってくれるような教育を進めてほしいと考えており、総合計画に記載しています。

○農業委員会会長 藤江委員

- 先月、農業委員会会長に就任し、今回から審議会に参加しておりますが、10年前の第6次総合計画の策定の審議会にも別の農業分野の団体から参加しておりました。

- 土地利用構想に関することですが、農地の他産業への転用は、条件の良い農地ではなく、山林等の別の土地を転用していただきたいと思っています。優良農地は守っていかなければならないという立場から、他産業への転用は必ずしも許可できないこともあります。
- 農業振興については藤江委員がおっしゃられた通りで、「筆柿の里」について記載されているが、問題は筆柿のこと自体であり、どこがイニシアティブとして、どこへ着地させていくのかは全く見えていません。柿を主にやっている人たちが少なくなっており、10年後自分たちが主となってやっていく代になった時には、言葉はきついが「どうやって不時着させるか」が課題となっていくように思います。そういう問題意識をもっと広く持ってもらう必要がありますので、どのように記載すべきか悩むところですが、課題として考えてほしいと思います。

→ **事務局（柴田課長）**

- 優良農地を守ることは大前提であり、それを踏まえて他産業への土地の転用を考えていけないといけないと思います。
- 筆柿についても、特産品の中でも後継者の問題が一番顕著だと思います。筆柿に特化した記載は総合計画の中では難しいと思いますが、特産品としてブランド化や6次産業化などで若い人たちに引き継いでいけるようなことを進めたいという記載を検討しています。

→ **廣井委員長**

- 総合計画の期間は10年ですが、20、30年後を見据えて10年間の計画を立てていくことが重要です。

○**教育委員会教育長職務代行 中西委員**

- 学校に関することといえば、未来を担う子どもたちの教育を充実させるため、教員の手配など町としてはしっかり対応していただいていると思います。
- 交通安全の中で、通学路の整備が課題となっています。各学区で見回りなどをおこなって点検しており、県などに改善の要望を出したりもしていますが、予算のこともあって順番待ちになっている状況です。
- 幸田町は歴史のある町であり、この歴史を子どもたちや町民が楽しみながら学べるものを工夫してほしいと思います。
- 健康づくりの問題でもありますが、暑さ対策として公園等の緑地、木陰づくりなどに取り組んでほしい。
- デジタル化が進むことでそれを使う人の側のストレスも増えております。それを癒す機能として自然を大切に利用してほしいと思います。

- 「住民の役割」ということには違和感があります。住民への宿題のように取れてしまう。住民が主体のまちづくりを進める中で、「住民の役割」という言葉は使わない方がよいと思います。

→ **事務局（柴田課長）**

- 通学路については教育や建設、防災安全などの担当部署が協力しながら見直すべきところは見直しています。
- 歴史について楽しみながら学べるような講座をとすることは、総合計画では細かい記載はできないが、ご意見は担当部署へ伝えるとともに、総合計画では生涯学習として幅広い世代へ魅力ある講座を企画するとの記載があることでご了解いただきたい。
- 森や緑は幸田町の強みであり、総合計画の中で記載していきたいと思います。

→ **廣井委員長**

- 最後に3点伝えたいと思います。
- まつりが観光振興であるとともに、文化伝統やコミュニティを守ることもあったり、子育て支援は防災の担い手育成につながるなど、それぞれの取り組みが相互に関連している。現状の計画は縦割りになっており、それぞれの取り組みがどのように関連するのか分かるように、主な取り組みのところに関連する重点方針のマークや番号等を付けて、重点方針と主な取り組みの関連を示してほしいと思います。
- 取組方針に目標指標があるように、重点方針の部分にも目標やスローガンがあった方がよいと思います。
- 文字が多すぎて、町民の人に見てもらえるようなものになっていないので、できるだけ町民の人に見てもらえるようにしてほしい。例えば、重点方針はイラストなどで示すなどしてはどうでしょうか。

**【廣井委員長】**

以上を持って議事を終了したいと思います。

皆様からのご意見を踏まえて、基本計画、施策体系に反映していただきたいと思います。

→ **事務局（柴田課長）**

- 「住民の役割」という表現については検討します。
- 重点方針については、出来上がったばかりのものを見ていただきましたが、当初イメージしていたのは、この重点方針の下に取組分野の主な取り組みなどを掲載することも考えておりました。今後、ご提案いただいた取組分野の中に重点方針の番号やマークを加えたり、その他イラストや写真を加えたりしてまとめて行きます。
- 加えて、概要版の作成を考えており、こちらは見やすさを重視し、読みやすいものを予

定しております。

**【内田部長】**

本日はお忙しいところお集まりいただき、慎重審議していただきありがとうございました。それぞれの委員会から所属する団体からであったり、皆さんの生活の中からお出しいただいたご意見をくみ取りながら策定を進めていきます。